

第4章 スケジュール及び事業費

4-1 スケジュール

- 平成35年度中の工事完了を目指す。
- 工事期間中でも道の駅が利用できるよう、各種工事のスケジュールを調整する。
- 工事の際、現在営業している各施設については、スケジュールを十分検討し、極力営業休止しないように努めるか、あるいは休止期間を短縮するよう調整する。
- 工事期間中の安全確保に配慮する。

友愛の森再整備スケジュール

区分	年度	事業内容	概算事業費
第1期工事	平成29年度	基本計画(全体)、基本設計(全体)、境界確定	0.5億円
	平成30年度	実施設計(観光交流センター)、急速充電器移設、既存建物解体、除染土移設、樹木伐採・粗造成	0.9億円
	平成31年度	<u>実施設計(新館、北トイレ)</u> 、観光交流センター新築、アグリ情報館改修、受変電施設改修、既存建物解体、樹木伐採・粗造成、彫刻移設、 <u>駐車場整備(北・東)</u> <u>バスターミナル整備、町道整備、調整池整備</u>	3.2億円
第2期工事	平成32年度	<u>新館建築(1年目)</u> 、 <u>北トイレ(浄化槽含む)整備</u>	6.2億円
	平成33年度	実施設計(防災館、サイクルステーション)、 <u>新館建築(2年目)</u> 、南駐車場整備、従業員駐車場整備、イベント広場整備、構内道路整備、	3.7億円
	平成34年度	実施設計(<u>カフェ・レストラン</u> 、足湯)、防災館整備、サイクルステーション整備、工芸館改修、植栽工事	2.2億円
	平成35年度	<u>カフェ・レストラン整備</u> 、足湯整備、南トイレ改修、サイン整備	1.2億円
			合計

※黒字・アンダーラインは社会資本整備総合交付金及び農山漁村振興交付金を活用する事業

4-2 再整備に要する事業費

○再整備に要する事業費は現時点で約 17.9 億円と試算されるが、町債により財源を確保しつつも、町の財政負担を可能な限り軽減するよう国の交付金等を有効に活用していく。

現時点で活用を考えている国の交付金は次のとおり。

省庁名	交付金等名	補助対象箇所
国土交通省	社会資本整備総合交付金	・町道 ・駐車場（北、東） ・北トイレ（浄化槽含む） ・調整池
農林水産省	農山漁村活性化交付金	・新館 ・カフェレストラン

○平成 31 年度までに第 1 期工事を終了する。第 2 期工事については、事業費が多額となるため、財政状況を考慮しながら工事を実施していく。

○過去にまちづくり交付金等の補助金を活用し整備された施設については、補助金の返還が生じないことを確認し、新たな町費を過度に投入することがないように、十分に配慮・調整する。

○設計・工事の際には、最大限の経費節減に努める。

再整備に要する事業費の見込み（概算）

事業内容	事業費
調査設計費 (測量、基本設計、詳細設計、実施設計、工事監理等)	2. 3 億円
新築 (新館、観光交流センター、北トイレ（浄化槽含む）、防災館、カフェ・レストラン、足湯、サイクルステーション)	10. 9 億円
改修・移築・解体費 (工芸館、アグリ情報館、南トイレ、急速充電器、受変電施設、ふるさと物産センター、なすとらん、長屋門、展示棟、農産物直売所、管理人住宅)	1. 0 億円
外構工事 (樹木伐採、粗造成、植栽、彫刻移設、駐車場整備、バスターミナル整備、イベント広場(防災ヤード)整備、町道整備、構内道路整備、調整池整備、サイン整備)	3. 7 億円
合計	17. 9 億円

※北側土地購入費として別途 3.2 億円支出している。

※補助金は 5.5 億円程度と想定される（概算）。